

日本女子大学 アセスメントプランについて

アセスメントプランは、日本女子大学の学位授与方針をもとに本学における学修成果の到達度を測る指標とし、カリキュラムの見直しをはじめ本学の教育プログラムのPDCAに使用します。また、アセスメントプランを公表することにより、学生の理解や社会への大学教育の可視化や質の保証を目指します。

日本女子大学の学生についての学修評価は、時期を3つに分けて、レベル別に3段階で実施します。それにより学生の学修成果を測定・評価し、その結果、教育プログラムを検証し改善につなげていきます。

【評価方法】

時期については、「入学前・入学直後」(アドミッション・ポリシー)、「在学中」(カリキュラム・ポリシー)、「卒業時・卒業後」(ディプロマ・ポリシー)に、それぞれのポリシーに基づき学修成果を測定・評価を行います。その際、評価は大学全体の「機関レベル」、学部・学科等のレベルの「教育課程レベル」、授業科目ごとに行う「科目レベル」の3つのレベルで実施します。

1. 大学全体「機関レベル」

学生の進路状況、卒業時アンケート、学位授与数、中退率等学籍状況から卒業時の学修成果の到達状況を大学における活動全体を通して測定し、評価・検証します。

2. 学部・学科・専攻「教育課程レベル」

カリキュラム・ツリー、アセスメントテスト、学修行動調査、GPA、単位取得状況、国家試験合格率、卒業論文・卒業研究の評価等から、教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を測定し、評価・検証します。

3. 授業科目「科目レベル」

科目ごとの到達目標等シラバス、授業評価アンケート、成績評価、英語プレイスメントテスト等から、科目ごとの学修成果の達成状況を測定し、評価・検証します。